

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等		
日常生活活動学実習		必修	1	3	後期		
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー				
坂本 祐太 他	D318	y.sakamoto	月曜日 10 : 40~12 : 10				
授業の目的・概要	介助が必要な方の日常生活活動に必要な知識及び介助技術を習得する。各疾患の日常生活における基本動作を理解し、適切に介助・指導を行うための技術を身につけ、実践できることを目的とする。まず、正常な基本動作と各疾患の基本動作を講義し、それに対する代表的な日常生活動作の指導方法・介助方法の実技を取り入れながら説明する。						
学習上の助言	講義プリントと教科書を確認し、対面授業内での実技を練習よくしておくこと。基本動作の理解と疾患による特徴的な動作を理解すること。						
教科書	姿勢と動作 ADLをその基礎から応用 第3版 / 著：齋藤 宏、矢谷 令子、丸山 仁司 / メヂカルフレンド社						
参考書	理学療法学テキスト 日常生活活動学/ 編集：臼田 滋、MEDICAL VIEW 標準理学療法学 日常生活活動学・生活環境学 第4版/編：鶴見 隆正、隆島 研吾/医学書院						
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針			
①	基本動作について必要な知識を理解し、説明できる			PT (1)			
②	臨床における日常生活活動で必要な知識を理解し、説明できる。			PT (1)			
③	日常生活活動に必要な指導方法を習得する。			PT (1)、(5)、(6)			
④	日常生活活動に必要な介助方法を習得する。			PT (1)、(5)、(6)			
⑤							
⑥							
授 業 計 画							
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)				
1	日常生活動作学実習の概論	対面授業 (講義・実技)	姿勢と動作 p2-57 を読んでおく。		1		
2	寝返り動作について学習・指導・介助方法の実技を行う。 「担当：坂本祐太」				1		
3	起き上がり動作について学習する。「担当：坂本祐太」	対面授業 (講義・実技)	正常な基本動作について、教科書を読んでまとめる。 各動作の介助方法を実技で練習する。 寝返り：姿勢と動作 p 60-79 起き上がり：姿勢と動作 p 88-99 起立・着座：姿勢と動作 p 49-50, p124-141 移乗：姿勢と動作 p162-183 歩行：姿勢と動作 p 142-161		1		
4	起き上がり動作について指導・介助方法の実技を行う。 「担当：坂本祐太」				1		
5	起立・着座動作について学習する。「担当：坂本祐太」	1					
6	起立・着座動作について指導・介助方法の実技を行う。 「担当：坂本祐太」	1					
7	移乗動作について学習する。「担当：坂本祐太」	1					
8	移乗動作について指導・介助方法の実技を行う。 「担当：坂本祐太」	1					
9	歩行動作について学習する。「担当：坂本祐太」	1					
10	歩行動作について指導・介助方法の実技を行う。 「担当：坂本祐太」	1					
11	脳卒中片麻痺の日常生活動作について学習する。 「担当：玉木徹」	対面授業 (講義・実技)			各疾患特有の日常生活動作、介助方法の実技練習を行う。姿勢と動作：1-10 回の範囲 理学療法学テキスト p222-238		1
12	脳卒中片麻痺の日常生活動作について実技を行う。 「担当：玉木徹」						1
13	骨折・人工関節術後の日常生活動作について学習する。 「担当：坂本祐太」	対面授業 (講義・実技)	各疾患特有の日常生活動作、介助方法の実技練習を行う。 姿勢と動作：1-10 回の範囲 理学療法学テキスト p 272-285		1		
14	骨折・人工関節術後の日常生活動作について実技を行う。 「担当：坂本祐太」				1		
15	移乗動作と移動の指導・介助方法の実技確認を行う。 「担当：坂本祐太」	対面授業 (講義・実技)	移乗介助、移動介助の実技試験を行う。		1		
16					1		
17	脊髄損傷の日常生活動作について学習し、実技を行う。 「担当：坂本祐太」	対面授業 (講義・実技)	各疾患特有の日常生活動作、介助方法の実技練習を行う。 姿勢と動作：1-10 回の範囲 理学療法学テキスト p239-252, p259-271,p297-315, p316-323, p324-339		1		
18	脳性麻痺の日常生活動作について学習し、実技を行う。 「担当：坂本祐太」				1		
19	神経筋疾患の日常生活動作について学習し、実技を行う。 「担当：坂本祐太,池上諒」	1					
20	慢性関節リウマチの日常生活動作について学習し、実技を行う。 「担当：坂本祐太」	1					
21	内部障害の日常生活動作について学習、実技を行う。 「担当：坂本祐太」	1					

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

22	住宅環境整備について学習する。 「担当：坂本祐太」		姿勢と動作：1-10 回の範囲	1					
23	日常生活活動学実習のまとめを行う。 「担当：坂本祐太」	対面授業 (講義・実技)	理学療法学テキスト p 140-194	1					
試	定期試験：達成度評価・評価のポイント参照								
達成度評価									
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計		
		60	0	0	0	40	100		
総合 力 指 標	知識・技術力	50	0	0	0	20	70		
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10		
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0		
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0		
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0		
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10		
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10		
評価のポイント					フィードバックの方法				
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点							
試験	①	✓	定期試験を実施し、達成度評価を行う（評価割合：60%）				試験結果の返却または開示		
	②	✓							
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
レポート	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
成果発表	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
ポートフォリオ	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
その他	①	✓	授業中で行う実技試験（評価割合：30%） 授業への取組みの姿勢（評価割合：10%）；授業ごとにリアクションペーパーを提出させ評価する。				授業後のフィードバック確認に来た学生には、個別に対応する。		
	②	✓							
	③	✓							
	④	✓							
	⑤								
	⑥								
備 考									
<p>担当教員：◎坂本 祐太、玉木 徹、池上 諒</p> <p>教員の実務経験：理学療法士（二次救急の急性期病床を持つ地域中核病院にて、整形外科疾患や内部疾患を中心に常勤として7年の勤務経験）</p> <p>実践的授業の内容：連続2コマの計23回開催の授業で、基本的に講義と実技を中心とする。実技を行うので、動きやすい服装で参加すること。基本動作の特徴や観察方法から導入し、臨床的に経験しやすい疾患の動作の特徴や日常生活動作の指導方法などの知識、技術について講義する。また、教員が担当した症例について紹介し、理学療法を実施する上で必要な指導方法・介助技術のデモンストレーションを行い、実践する。</p> <p>感染対策：大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を厳守すること。問題がある場合は対面授業の参加は認めない。</p> <p>※今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況など、社会情勢によって再度シラバスを変更の可能性がある。</p>									